

# 平成 28 年度 第 10 回 理事会議事録

日時：平成 29 年 1 月 24 日（火）19：00～20：30

場 所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、高村、磯野、有泉、井村、名取、  
北山、古屋、三科、大西、  
(部長) 入倉、小林

書記：嶋津

## 会員管理情報

慶事 0 件 弔事 3 件 施設数 125 会員数 838 名（施設  
会員 783 名、自宅会員 55 名）（1 月 24 日現在）

### I. 審議事項（全 2 題）

#### 1. 災害関係 JRAT について（小林会長）

災害が起こった時に、災害救助、生活不活発避難者へのアプローチ、障害者へのケアなど行うことがある。山梨ではリハ協を中心として PT、OT、ST、ケアマネ協会の 5 団体で JRAT を立ち上げるようになった。（発起人：リハ協天野先生、PT、OT、ST 士会長、ケアマネ協会会長鷺見先生の 5 名）会長リハ協天野先生、副会長山リハ佐藤先生。今度県と協定を結ぶ。災害があった際の流れとしては、DMAT、JRAT が協力して救助に参加し活動していく。活動に参加することについて了承を得たい。

公的な立場で活動に参加するために県と協定後各病院施設に願文を出していく。三井先生が中心となり行っていく。会則等の細部については今後詰めていく。現在数名委員がいるが、興味のある PT がいれば、今後人員を増やしていきたい。

(意見)

- ・今回は全国の団体に入るといふことか？  
→今回は山梨版であり、全国のものとは別である。  
PT 協会は全国 JRAT に入っている。今後山梨の JRAT から行く部隊と協会からの依頼で行く部隊があり、2 本立てになっていく。

(結論)

現時点では、山梨 JRAT に参加することで承認をえた。必要に応じては三井先生に説明をしてもらうことも考えている。会則等読んでもらい不明点、修正点等あれば有泉局長まで連絡をする。

#### 2. 介護予防・健康増進事業における都道府県コーディネーターの推薦について

(磯野副会長)

都道府県コーディネーターを士会として 2 名推薦してもらいたいと依頼があった。推薦者の 2 名は、住民自身を指導士として養成し、介護予防事業を広めていくことを行ってもらう。県としては 100

歳体操を市町村へ働きかけてきた。協会としては、このモデルで介護予防事業を進めてほしい。別紙に推薦者の要件ある。石和温泉病院の原田先生、健康科学大学の三科先生の 2 名を県士会として推薦しようと考えているがよろしいか？

(結論)

上記 2 名を推薦することで決定。今回のモデルは例であり、山梨県として変えていってもよい。研修会の参加について事務局に報告し、有泉局長から FAX を送信する。→三科局長が対応済み

### II. 報告事項（全 5 題）

#### 1. 各種委員会報告

##### ・地域支援事業等推進委員会

12 月 21 日に委員会を開催した。市町村の総合事業についての関わり方の報告があった。印象としてはあまり進んでいない様子。事務局として、石和温泉病院原田先生、湯村温泉病院木村先生に入ってもらった。

##### ・訪問理学療法委員会

2 月 3 日に 1 年間のまとめを実施する。

##### ・災害対策準備委員会

1 月 23 日に JRAT の立ち上げの委員会に参加した。

##### ・特別支援教育委員会

1 月 25 日に委員会があり、2 月 11 日の研修会の打ち合わせを行う。

##### ・四士会ワーキンググループ

2 月 9 日文学館において研修会を実施する。

#### 2. 企画局企画研修部（井村企画局長）

##### ・第 2 回企画研修部研修会の報告で、開催日時と講師が決定した。

講師：田村外科病院 高橋浩平先生

日時：平成 29 年 3 月 8 日（木）19：00～21：00

会場：大木記念ホール

現在発送の準備を行っている。

##### ・公開講座について

講師：清水宏保氏

平成 29 年 3 月 19 日（日）

会場：笛吹市スコレーセンターに決定

テーマ：医療とスポーツの融合

現在広報費チラシを作製中。メディアにも広報依頼をしていく予定。ロコモテストを実施予定。保険については、現在、士会で加入している保険が士会業務中に関してのことであれば保障の対象となるとのこと。（額はそれほど大きくない。）

### 3. 新人教育研修部 (北山学術局長)

第3回新人教育プログラム研修会についての報告。  
1月11日、18日に新人教育研修会を開催した。18日に実施したB-4研修会は必須科目ではないため参加者が少なくなっている。

2月7日に協会の指定管理者研修(初級)を開催予定。現在の参加者は60名。参加者には士会長推薦の書類を渡す。

今回の研修会は、協会主催の(初級)研修と同様の研修会である。そのため、どちらかの研修会に参加すれば(上級)の研修会を受けることができる。先の研修が提示されていないためわからない中で実施しなければならない。士会長会議等で予定を早めに出してもらいたい旨を伝えてもらいたい。この研修会については協会から10万円の補助がでるため、事務局から申請をしていく。

### 4. 学会について (名取学術局長)

参加者が200名強、レセプションは100名。もう少し増えてもらいたい。事前申し込みしていない人は当日参加でもよい。レセプションも当日参加でよい。

### 5. 事務管理局 (有泉事務局長)

#### ①協会指定管理者職能別中央研修会について

別紙資料参照。

協会から職能別の管理者養成についての研修会で、生活期と急性期に関わっている指定管理者の2部門である。生活期を恵信梨北病院の上田先生、急性期を山梨赤十字病院の宮下先生に依頼し内諾を得ている。

(結論)

上記2名を承認する。県士会から協会への推薦を出すうえで、理事が把握していないため、人選に偏りがでてしまうこともある。推薦者等リスト、組織図、名簿を作成する。

#### ②JRAT 会議について

報告通りである。

#### ③事務員の雇用について

業務を始めている。能力を把握しながら進めていく。2月15日に初回給料支払い。

#### ④講演依頼

1件(義肢適合支援の在り方研究会)

#### ⑤事務所の整備

リコーで事務管理についての事業も行っている。(電話、インターネットなど)経費がどのくらいかかるか担当者と話をしていく。来年度から事務員2名を置く予定。

#### ⑥会費未納者への対応

現在17名。連絡不明が9名で連絡可能者は8名。協会から振込についての連絡をしている。(3月までに3回)

#### ⑦来年度の交流会について

ベルクラシックから連絡があった。6月9日で決定する。OT士会、ST士会の事務局に連絡をする。

#### ⑧年度末の日程について

年度末監査:4月17日の週で、監事に予定を確認して決める。

定期総会:5月16日(火)

拡大理事会:5月23日(火)

3月31日で財務の締め切りとなる。4月7日の1週間前までに資料作成をお願いしたい。有泉先生から今年度の定期総会の資料を送付する。

#### ⑨その他

財務について(入倉先生)

本通帳の残金が3万円を切った。協会からの入金についてはそれほど見込めない。研修会参加費等を財務に渡していない部局は早めに渡すように。例年3月に220万円ほど戻しがあったが、今年度は1か月早く戻してもらいたい。お金の動きがはっきりわかっていないため、来年1年かけてははっきりとさせていく。

### III. その他

有泉先生のメールアドレスについて、今まで県のメールアドレスで行っていたが、県のPCでいろいろと変更があり、やり取りが大変になったため、士会の内容については、事務管理局あてのメールに送ってもらいたい。

### IV. 次回の理事会日程について

日時 平成29年2月28日(火) 19:00~

場所 県士会事務所

連絡 2月24日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉)へ提出する。

議題がない場合でも、事務管理局へ連絡する。

### V. 会長より

2月18日19日に関プロ会議に会長が参加する。何かあればメールをもらいたい。